現代短歌分類辞典

第五十三巻

津端　修編纂

津　端　　修編纂

現代短歌分類辞典

第五十三巻

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辞典

53

昭和五十五年二月五日発行　定価一、七〇〇円

著者発行兼印刷者　津端　修

〒413-05
静岡県賀茂郡河津町田中一四二
発行所　津端　修

振替　横浜　一〇六九
電話　〇五五八三―二―二一八三

目次

（第五十三巻）

	歌数	頁数
ある―ごとく	四四	一
ある―ごとく―して	一	四
ある―ごとくなり	一	〃
ある―ごとくなり―て	一	五
ある―ごとくなる	一	〃
ある―ごとくなる―かも	一	〃
ある―ごとくに	三	〃
ある―ごとくに―て	五	〃
ある―ごとくに―も	三	六
ある―ごとく―も	一	〃
ある―ごとし①	六〇	〃
同　②	一八	一三
同　③	五四	一三
同　④	一七	一八
有る事無き事	一	二〇
ある―毎に	九	〃
ある―毎―も	二	二一
アルコホル	一	〃
アルコホル分	一	〃
酒精綿	一	〃
アルコール	二	〃
アルコール漬	二	二三
アルコール詰	一	二三
アルコールランプ	三	〃
ある―さうな	一	〃
アルザス	一	〃
アルザス経由	一	〃
ある―さへ	七	二四

ある―さへ―に　一　二四
ある―さへ―や　二　〃
あるじ　四八　二五
アルジェリア　三　六四
あるじおくめ　一　〃
主人父子　一　六五
主人顔　二　〃
あるじごころ　一　〃
あるじ五助　二　〃
あるじごのみ　一　〃
主宰相　一　〃
あるじざね　一　〃
あるじさび―たる　一　六六
あるじする　二　〃
あるじせ―む　一　〃
主人名　一　〃
主人の君　三　六七

あるじ信綱　一　六七
主人びと　一　〃
主人夫婦　三　〃
あるじ麓　一　六八
主人ぶり　三　〃
あるじ牧水　一　〃
あるじ北峰　一　〃
あるじまうけ　四　〃
あるじ設けす　一　六九
あるじまけ　一　〃
主人設けせ―り　一　〃
アルシャン　三　〃
主ら　三　七〇
アルスター湖上　一　〃
ある―すら―や　一　〃
アルセーヌ・ルパン　一　〃
アルゼリヤ　一　七二

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

アルゼンチン　一　七一　ある―と①　三〇　六六
ある―ぞ　七　〃　同　②　八三　六九
ある―ぞ―と　三　七　同　③　七　八六
ある―ぞ―とも　一　三　〃　同　④　二〇　八七
ある―ぞ―も　一　一　〃　ある―と―いの　一　八九
アルタイ　二　二　〃　ある―と―か　二　〃
有る丈　一〇　二　〃　あるところ　二　〃
ある―だに　四　三　〃　ある―と―し　二　〃
ある―だら―う　二　四　〃　あるとしもなき　四　九〇
ある―だら―う―か　一　二　〃　あるとしもなく　一　〃
ある―ちふ　二　二　〃　あるとなき　一二　〃
ある―で　二　一　〃　あるとなき―と―に　一　九一
アルテピナコテーク　一　一　〃　あるとなき―と―を　一　九二
ある―てふ　三　三　〃　あるとなく　二　〃
アルト　一　一　〃　あるとなけれ―ど　一　〃
生る―と　三　四　〃　ある―と―は　四　〃
荒る―と　一　四　九三　ある―とふ　四　九三

ある―とも　五　九三　ある―なら―む②　一　一〇二
ある―と―や　一　〃　同③　一　〃
ある―な　一三　九四　同④　二　〃
ある―なかれ　四　九五　ある―なら―ん①　四　一〇三
あるなき　一　〃　同②　二　〃
あるなし　六　〃　ある―なり①　七九　一〇四
あるなし　六　九六　同②　一六　一一〇
あるなし―と　二　九七　同③　七　一二三
あるなし―や　一　〃　同④　二　一二三
ある―な―と　三　〃　ある―なり―と　四　〃
ある―など　三　〃　ある―なる　四　〃
ある―なべ―は　一　九八　ある―なれ①　二　一二四
ある―ならし　五　〃　同②　一　〃
ある―なら―ず　四　九九　ある―なれ―ど　二　〃
ある―なら―ね―ども　一　〃　ある―なれ―と　一　一二五
ある―なら―ば　一　〃　ある―なれ―ば　四　〃
ある―なら―む①　三二　〃　ある―に　二〇四　〃

ある―に―あら―ず―や　五　一三二
ある―に―あら―ぬ―に　一　一三三
ある―に―あら―ね―ど　七　〃
ある―に―あら―れ―ず　七　一三四
ある―に―あら―れ―ぬ　七　〃
ある―に―か　六　一三五
ある―に―かも　一　一三六
ある―に―こそ　一　〃
ある―に―し　二　〃
ある―に―ぞ　五　〃
アルニタク　一　一三七
ある―にて　一　〃
ある―に―と　一　〃
ある―に―は　七　〃
ある―に―て　五　〃
ある―に―も　五　〃
ある―に―も―あら―ざる―に―も　一　一三九
ある―に―も―あら―ず　四　一三九
ある―に―も―あら―ぬ　一　〃
ある―に―や　一二　〃
ある―に―より―て　二　一四〇
アルニラム　一　一四一
アルネ　一　〃
あるの　一　〃
ある―の―か　一五　〃
ある―の―が　一　一四三
ある―の―か―と　一　〃
アルノ川　二　〃
ある―の―かも　一　〃
ある―の―だ　三　一四四
ある―の―だ―から　一　〃
ある―の―だっ―た　一　〃
ある―の―だ―と　一　〃
ある―の―だ―らう―か　一　一四五

ある―の―だ―らう―か―とも　一　一四五
ある―の―で　三　〃
ある―の―なら　一　〃
ある―のに　四　〃
アルノ―の河　一　一四六
ある―のは　二　〃
ある―のみ　三三　〃
ある―のみ―と　三　一四九
ある―のみ―なり　二　〃
ある―のみ―に　八　一五〇
ある―のみ―の　一〇　〃
ある―のを　六　一五一
或るは　九九　一五二
ある―は　二三三　一六〇
アルバイト　一九　一八〇
アルバイト学生　三　一八二
アルバイト少女　五　〃

アルバイト代　一　一八二
アルバイト料　一　一八三
アルパカ　一　〃
ある―ばかり　八　〃
ある―ばかり―なり　一　一八四
ある―ばかり―なる　二　〃
ある―ばかり―にて　一　〃
あるは―と　二　〃
アルバニア案　一　一八五
アルバム　一三　〃
ある―はや　三　一八六
アルピニスト　一　〃
アルビノ　一　〃
あるひは　四三一　〃
あるひは―と　六　二二三
あるひは―とて―ぞ　一　二二四
アルプ　四　〃

アルファ・アンタレス　一　二四
アルファベット　一　二五
アルプ鴉　二　〃
アルプ白雲　一　〃
アルプス①　三五　〃
同　②　一四　二八
アルプスおろし　一　三〇
あるぷす山　一　〃
アルプス山塊　二　〃
アルプス山脈　一　〃
アルプスの峰　一　〃
あるぷすの山　七　〃
アルプス変色　一　二三
アルプス諸峯　二　〃
アルプス山　一　二三
アルプス連山　二　〃
アルプの山　七　〃

アルプホオーン　一　二三
アルプ山なみ　二　〃
アルブレヒト・デューレル　一　〃
有平糖　一　〃
ある―べから―ざる　三　〃
ある―べから―し―を　一　二四
ある―べから―ず　三　〃
ある―べから―む―と　一　〃
ある―べから―む―や　一　〃
ある―べかり　二　二五
ある―べかり―けむ　一　〃
ある―べかり―けり①　九　〃
同　②　二　二六
ある―べかり―ける①　四　〃
同　②　一　二七
ある―べかり―けれ　一　〃
ある―べかり―けん　二　〃

あるーべかりーしーが	一	二三七	あるべきことーか	六	二四〇
あるーべかりーしーと	一	〃	あるーべきーぞ	一	二四一
あるーべかりーしーを	七	三三八	あるべきところ	二	〃
あるーべかりーにーし	一	〃	在るべき場所	一	〃
あるーべかるーらし	一	〃	あるーべきーならーず	一	〃
あるーべき①	六九	三三九	あるーべきーならーむ	一	二四二
同②	一六	二三四	あるーべきーに	六	〃
同③	一六	二三六	あるーべきーは	一	〃
同④	一	二三七	あるーべきーも	一	〃
同⑤	二	二三八	あるーべきーや	一	二四三
同⑥	二	〃	あるべきやう	三	〃
同⑦	一	〃	あるーべきーを	一三	〃
同⑧	一	二三九	あるーべく	二一	二四四
同⑨	一	〃	あるーべくーて	五	二四六
同⑩	一	〃	あるーべくーは	三	二四七
あるーべきーか	一	〃	あるーべくーも	二	〃
あるべきこと	七	〃	あるべくもなき	三	〃

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

あるべくもなし　六　二四八
ある―べけれ　一　〃
ある―べし①　一八七　〃
同②　一九　二六四
同③　一　二六六
同④　二三　〃
同⑤　一　二六八
同⑥　三　二六九
同⑦　一〇　〃
同⑧　一　二七〇
ある―べし―と　二九　〃
ある―べし―も　二　二七三
ある―べし―や　二五　〃
ある―べし―よ　一　二七六
アルペン　五　〃
ある―まい　五　二九九

ある―まい―と　二　二七七
アルマイト　二　二七八
ある―まじ　四　〃
ある―まじき　一六　〃
ある―まじき―まで　一　二八〇
ある―まじく　一　〃
ある―まじ―けれ―ば　一　〃
ある―まじ―と　六　〃
ある―まで　一　二八一
ある―まで―に　一　〃
ある―まで―の　一　〃
アルマン　一　〃
アルミ　五　〃
荒海（あるみ）　四　二八二
アルミ貨　三　〃
アルミナ　三　二八三
アルミ鍋　一　〃

アルミニューム　五　二八三
アルミニューム貨　一　二八四
アルミ板　一　〃
ある—めり　一　〃
アルメリア　一　〃
アルメリヤ　二　〃
ある—も①　五三　〃
同　②　八七　二八九
ある—も—あら—ぬ—も　一　二九六
ある—も—なき—も　一　二九七
ある—や　二四　〃
ある—や—あら—ざる—や　一　二九九
ある—や—あら—ず—や　一　〃
ある—やうで　五　〃
ある—やうな　三　三〇〇
ある—やうに　三三　〃
ある—やうに—て　一　三〇二
ある—や—と　五　三〇二
ある—や—とて　一　三〇三
ある—やも　二　〃
ある—やらむ　二　〃
ある—やらん　一　〃
ある—よ　一六　〃
ある—よ—と　六　三〇五
ある—よな　三　〃
ある—より　一五　三〇六
ある—より—も　五　三〇七
荒る—らく　六　三〇八
ある—らく—なべに　一　〃
ある—らし①　一五九　〃
同　②　二〇　三二二
同　③　四　三二四
同　④　三　〃
同　⑤　一　三二七

ある―らし⑥	四三	三二七	
同⑦	一	三三二	
同⑧	三	〃	
同⑨	七	三三二	
同⑩	五	三三三	
ある―らしき	三	〃	
ある―らしく	一一	三三六	
ある―らしーと	二	三三七	
ある―らしーも①	二九	〃	
同②	七	三四〇	
同③	四	〃	
同④	六	三四一	
ある―らしーや	二	三四二	
ある―らむ①	六七	〃	
同②	四	三四八	
同③	四	〃	
同④	二	三四九	
ある―らむ⑤	三〇	三四九	
同⑥	四〇	三五二	
同⑦	一	三五五	
同⑧	三七	〃	
合計	三〇八首		

昭和五十四年六月二十八日起稿
昭和五十四年八月　一日脱稿
資料カード五五、三〇〇首の内より

ある―ごとく【動詞・助動詞】〔ある如く〕

晩年に一度逢ひたるのみなりき髯あるごとく無かりしごとく① 村田利明
秀でたる黄いろの花もゆふべには知慧あるごとくみな合掌す⑤ 生方たつゑ
ひとりのみのしあはせゆゑにひたかくし家ごもりをり罪あるごとく① 荒木暢夫
ビルディングの窓それぞれに灯りつつ香のある如く靄立てる宵① 礒幾造
不思議なる事ある如く近隣の人ソ連より帰りし人の家のぞき居り⑲ 菅沼禎次郎
古き派と新らしき派のあるごとく一人にたらひ一人に足らず⑧ 與謝野晶子
分譲地の新家に今宵灯のいりて琴弾きいでぬゆとりあるごとく① 中村正爾
矜なく卑下なき人の行くところ独あるごとく安らなりける⑱ 窪田空穂
掘りさげし地下にて電話をかくる人を意味あるごとく覗きゐしなり② 初井しづ枝
巻き返す命の絲もある如く旅に華やぐ我が心かな① 高橋英子
まさ目にしみゆる穢れのある如くゆゑゆゑしくも禊ひ清むる⑧ 太田水穂

ある―ごとく

ある―ごとく

またさらにこころみをされあるごとくおもへてやるせなきわがこころ①　富田砕花
待たばなほ値下る衣料を待ちなむと言ひて可笑しも金ある如く①　初井しづ枝
窓高く昼薄暗き室の中閉ぢこめられてあるごとくゐぬ①　塚田菁紀
まとまらぬ我が歌集ゆゑ今夜(とよひ)また責められてをり罪あるごとく①　中村正爾
真昼には夜を忘れてあるごとく闇にありては知らず光りを②　中原綾子
満月は数ある如くゆくさきの山の谷間にまた峯の上に②　中河幹子
み堂など桜のなかにある如く牧の厩に朝の鐘鳴る①　近江満子
三人目を産みたくなしと言ひてゆけり胸に決したるものあるごとく①　初井しづ枝
水の中にある如く旗のなびく見ゆ工事する人を空に仰げば①　田谷鋭
みどり野に新しく立つ電柱の一つ一つが意思ある如く①　池原楢雄
みな寂し浅間の霾を落す枝よしある如く放たざる枝①　近江満子
南淵の請安がなほ在るごとく泉の末の一すぢ細し⑬　安江不空

未練あるごとくよそほひ酔ひくれば憎まれ口のいくつかを吐く⑤　長谷川銀作

眼つむりて青き甍にある如く船に身もたせ夕べありけり①　和田山蘭

眼を閉ぢて深きおもひにあるごとく寂寞として独楽は澄めるかも①　植松寿樹

もらひたる新刊の書の智の深さ声あるごとく老をあせらす　服部嘉香

焼け失せし家はそのままあるごとくふと思はるる夕暮もあり②　岡崎義恵

安らかに明日ある如くあかしやの夏くる樹下に風は治まる①　中城ふみ子

山の夜や星に混りてあるごとく高き方にて鳴けるこほろぎ⑰　與謝野晶子

山々が襟を合せてある如く重なる奥に寒き日の入る㊃　鈴木吉良

雪の中より小杉ひともと出でてをり或る時は生あるごとくうごく⑯　斎藤茂吉

用事ある如く佇めば昼すぎの道に我を置き流れ去る人①　田谷鋭

よき客人座に在るごとく新刊のよき書二三わが書斎にあり⑨　佐佐木信綱

世の中も電車の中にあるごとくゆとりもあらず親しみもあらず①　清水比庵

ある—ごとく

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com